

「大雨、川の洪水から

身を守るために自分にできること」

名古屋市立味鋤小学校 6年 深澤仁実

調べようと思ったわけ

個人情報保護のため、一部マスクングをしております。

隣の家の方が、「東海豪雨の時は、ここら辺は水がたくさんあふれてとても大変だったんだよ。」と教えてくれました。そして、去年、大雨が降った時に、側溝から水があふれて、ひざ下くらいまで浸かったり、アンダーパスに水が溜まって通行止めになったりしてとても困りました。その時、自治会長さんが、側溝の水が流れやすくなるように、市役所の人に頼んでくれました。そこで、また大雨が降った時、安心できるように自分にできることはなんだろうと気になったので調べることにしました。

① 地蔵川の豆知識

【地蔵川は人がつくった川】

地蔵川は、春日井市の市街地や地蔵川流域の浸水被害を軽減するために、関田町上流域から、内津川を経て庄内川へ放流するためにつくられた川である。

【地蔵川ができるまで】

地蔵川は、1955年～1967年にかけて工事され、1968年に完成した。その後、大雨の時に、たびたび川の水があふれる。2011年9月に、台風15号による豪雨で八田川の水があふれたのを機に、地蔵川と八田川が交わる下流付近に、排水ポンプ場が作られることとなった。

② 天気による地蔵川の水量の変化

- よく晴れている日
- 曇っている日
- たくさん雨が降った日

の3つの天気の時々の地蔵川を観察した。

• 8月15日 天気…雨



台風が来たため、たくさん雨が降った。川の水は、いつもより濁っていて、泥水のような色だった。水量も多かった。でも、去年の大雨の時より、川の水の量は低かった。去年は、川が決壊して、水があふれていた。道路も流れるプールのように怖かった。

• 8月16日 天気…曇りのち晴れ



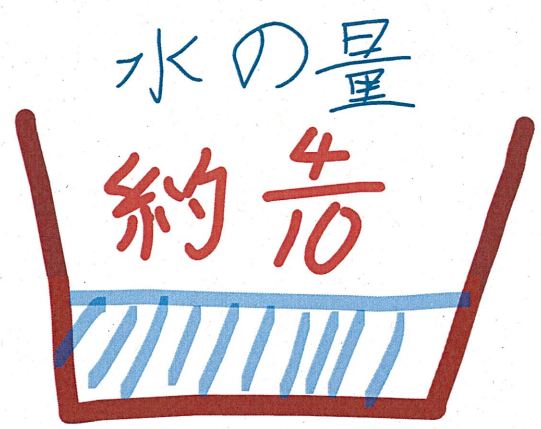
水の量が、前の日の半分くらいになっていた。水が透き通

って、川底がよく見えた。たった1日だけど、水量も色もずい分変化した。天気によって、こんなに違いが出るんだと思った。

川底のようす→

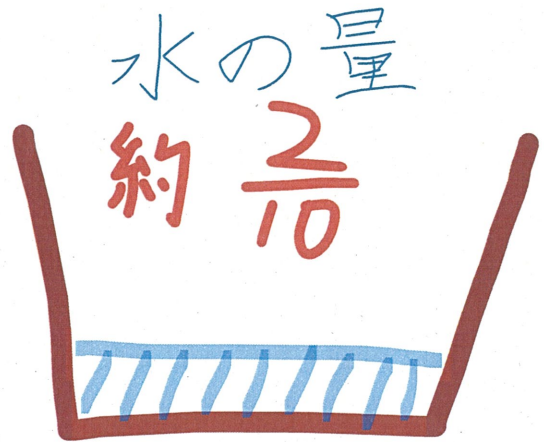


• 8月17日 天気…曇り（うす日がさす日）



自分の家の近くでは、雨が降らなかったのに、水の量は、昨日より多かった。東の空は、黒い雲が広がっていた。水は濁ってはいない。

・ 8月20日 天気…快晴



水の量がとても少なくなっていた。透明に透き通って川底もよく見えた。シラサギが水の中を歩いていた。よく見ると、鯉やカメもいた。

③ 観察して疑問に思ったこと

- ① 自分の地域で、雨が降っていないのに川の水量が多い時があったのはなぜか。
- ② 大雨が降った時に、去年のように、あふれるほど多くならなかったのはなぜか。

④ 疑問に思ったことについて調べる

・ ①の疑問について

自分の家の近くで雨が降らなくても、その川の上流で雨が

降ると水の量が多くなることがわかった。地蔵川の上流を Google Map でたどって見たら、春日井市関田町だということが分かった。自宅付近は晴れていたけど、東の空には黒い雲が広がっていた。上流で雨がたくさん降ると、自宅付近では雨が降っていなくても洪水の危険があることが分かった。晴れていても安心できないと思った。

• ㊀の疑問について

地蔵川や八田川は、平成 29 年から堤防を高くする工事をしたり、排水機場をつくったりしていたが、去年完成した。また、周辺の公園の地下には、雨水を貯める工事をしていた。様々な工夫をした工事をし終えたことによって、去年よりも川の水があふれにくくなったことが分かった。



地蔵川排水機場



近くの公園にできた
雨水をためる水槽

⑤ 自分にできること

【日ごろから】

- 家族で避難場所を確認する。
(近くの社宅の5階、6階の廊下)
- すぐに避難できるように準備しておく。
- 家の周りの側溝をきれいにしておく。

【大雨のとき】

- 天気予報を見て、上流の天気や自分の地域の天気を調べる。
(インターネットで雨雲レーダーを見る。)
- 外に出られないときは、自分の家の二階に上がる。
- 川のライブカメラを見る。
(ケーブルテレビ、インターネット)

自分の家にあたもの

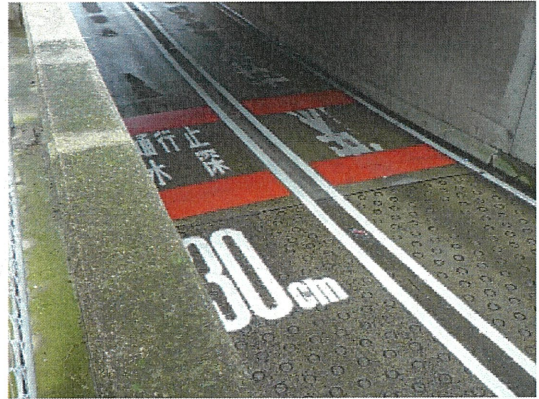


川のライブカメラ→



⑥ 大雨が降った時のための工夫

- アンダーパスの水位線
車が水没するのを防ぐため



- 落ち葉よけ網

去年の洪水の後、さらに二か所増設したため、今年の大雨が降った時は、側溝があふれなかった。

→側溝が詰まっていると水が流れなくなるのが分かった。



- 水害時一時避難建物
一時的に避難できる高い建物



- 地蔵川排水機場
地蔵川の水を八田川へ排水する。



⑦ 感想

洪水や大雨から自分の身を守るためには、大雨が降ったり、災害が起こったりする前から、すぐに避難できるように準備しておくことが大切だと分かりました。自由研究をきっかけに、家族と避難場所を確認したり、ハザードマップを見たりして、もしもの時にどうすればよいのかを考えることができました。

また、地域にも災害に備えていろいろな工夫があることを発見することができました。大雨が降ると浸水しないか心配になったけれど、市の人や地域の人がいろいろ対策をしてくれていることが分かって、少し安心できました。

これからは、地蔵川だけでなく、庄内川や八田川も観察して天気によって変化する水の量の観察を続け、川と上手に付き合って、安全に暮らしていきたいです。